

5409

“正しくメンテナンスし、お客様とともに住まいを守る”

住宅は経年劣化していくもの 点検とメンテナンスが大切。

木造住宅は、正しく施工し、定期的にメンテナンスをすることで、100年以上の寿命を実現できる建物です。しかし、必ず経年劣化していくものですから、不具合の早期発見、早期修繕はとても大切です。家を長持ちさせるためには、住まい手であるお客様ご自身にも、定期的な点検や適切なメンテナンスを実施していただくという意識が必要です。

ゼロホームの「100年住宅」はメンテナンスのしやすさを十分に考え、不具合の特定や取替えがしやすい構造になっています。「点検がしやすい」ということは、家にとって負担が少なく、不可欠な要素なのです。



シロアリ、水漏れ、雨漏り跡がないかの確認や、万一の配管トラブルにも対応しやすいよう、ゼロホームの床下は隅々まで行けるようになっています。

独自の「構造50年保証」と 「住宅履歴書」で価値向上。

ゼロホームでは新築住宅を購入されたお客様に、独自の「構造50年保証書」をお渡ししています。

この保証を実現するために、例えば10年目の点検では、外壁や基礎、バルコニーなどに雨漏りにつながるような劣化はないか、シロアリや水漏れの様子はないかなど、床下、排水管の中までチェックします。

定期点検でのこれらのチェック項目や修繕内容は、その他のメンテナンスの記録と合わせすべてデータとして保存。お客様の依頼に「住宅履歴書」としてお渡しすることができます。ストック住宅としての価値向上に役立てていただけます。



お客様の大切な住宅だからこそ、独自の構造50年保証を実施。10年点検時には詳細な報告書をお渡しします。

雨漏りのない家を実現する 徹底検証とカウントの公開。

ゼロホームでは、すべての新築住宅において、建築時に厳しい「水掛け試験」を実施するなど、最重要項目として雨漏り撲滅に取り組んでいます。しかし、それでも雨漏りは起きてしまうことがあります。

不本意に起こってしまった雨漏りについて、ゼロホームでは、時に模型をつくったり、実験を行うなどしながら、原因と改善対策が明確になるまで徹底した検証を行っています。そして、その記録を、雨漏りの発生軒数とともにホームページでご報告しています。

この取り組みは、雨漏りのない住宅づくりへのゼロホームのかたい決意表明なのです。



雨漏り事例については、原因と対策が明確になるまで徹底検証。雨漏り軒数ゼロをめざするため、その記録を公開しています。

(HPより抜粋)



棟への責任。

※「5409棟」は1998年カウント開始から2014年9月末までの新築竣工棟数